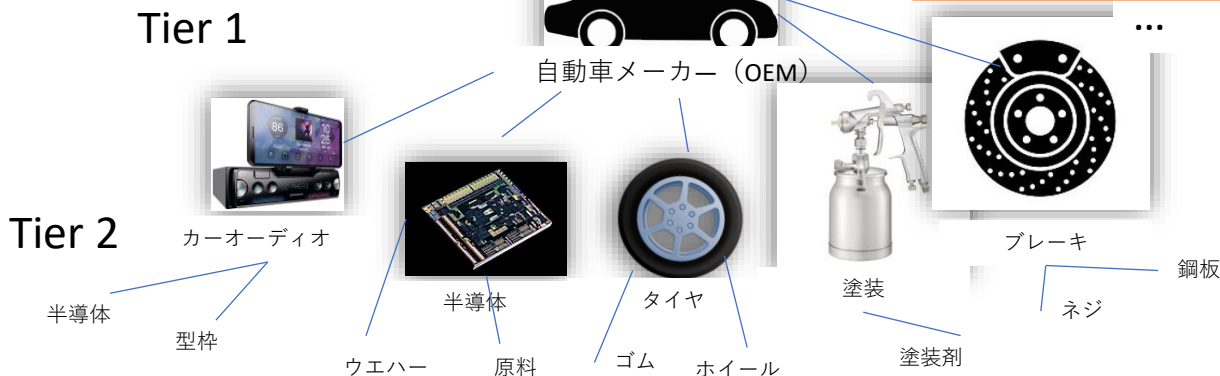


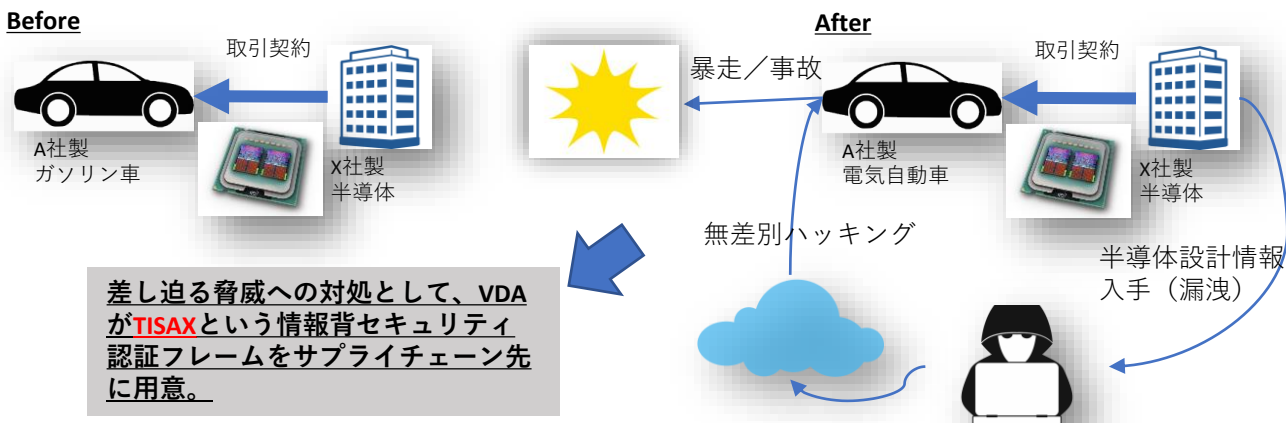
TISAX認証取得必要性のご紹介

グローバル自動車メーカーと直接、および間接的に取引のある会社様へのお知らせです

自動車業界の構成



自動車メーカーは数多の業種のサプライヤで支えられている



- VDAは自動車業界に纏わるサプライヤー向けに、自動車に纏わる情報セキュリティの対策レベルをデータベース化できる“器”を用意。
- 上記“器”を閲覧することで取引候補となるOEMや委託先 (Tier1、Tier2等) といった、取引先候補の情報セキュリティ対策レベルを知ることができる。
- OEMは情報セキュリティ対策として安心できる委託先を選定できる。言い換えると、TISAX認証を行なった企業同士で安心・安全の輪を構築。

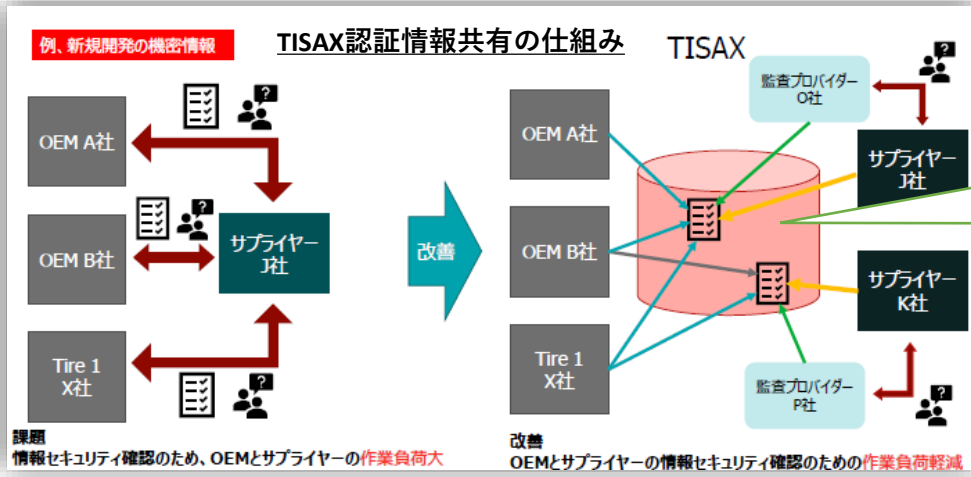
TISAX認証を取っていないことでおきるリスク

- 自動車業界傘下の取引先で、遠くも近くもグローバルな取引が不可能になる
- 取引先基準に従う必要があるため、単なる廻しているだけのISMSでは不十分
- 今後、OEM先からの極秘プロジェクト型製品を請け負う場合は同認証がないことで取引そのものが停止される
- OEMだけでなく、Tier1、Tier2といった横連携の会社との取引においてもTISAX認証が前提という取引が増加
-

VDA: ドイツ自動車工業会の略

TISAX: VDAが策定した、VDA情報セキュリティ評価基準 (VDA ISA) に基づき、認証機関の審査を受ける制度

TISAX認証情報共有の仕組みと認証取得プロセスについて



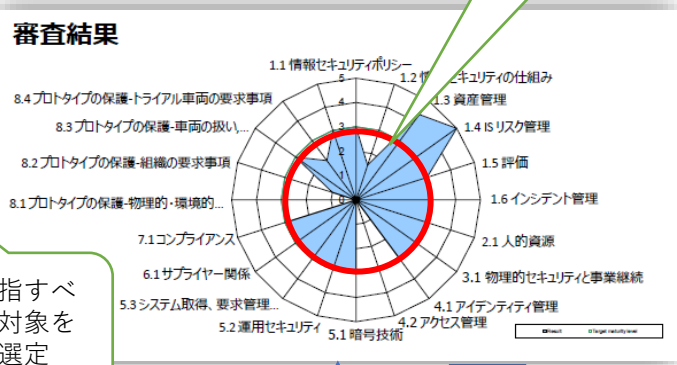
情報セキュリティ対策レベル確認が大幅効率化

オール3点以上が必要

認証取得プロセス（概要）

No.	TISAX審査目的	審査レベル(AL)
1.	高度な保護レベルが必要な情報	AL 2
2.	非常に高度な保護レベルが必要な情報	AL 3
3.	プロトタイプのパーツ及びコンポーネントの保護	AL 3
4.	プロトタイプ車の保護	AL 3
5.	テスト走行車の扱い	AL 3
6.	イベント・動画/写真撮影時のプロトタイプの保護	AL 3
7.	欧州一般データ保護規則（GDPR）のArticle 28（「プロセッサ」に基づくデータ保護	AL 2
8.	欧州一般データ保護規則（GDPR）のArticle 9に規定された通り、特殊なカテゴリの個人データを持つArticle 28（「プロセッサ」）に基づく、特殊なカテゴリの個人データの保護	AL 3

目指すべき対象を選定



リスク対策の実施～
内部監査、審査申請



認証発行へ

レベル確定

領域	#管理策
情報セキュリティ (ISO 27001 Annex Aに基づく)	41 管理策
プロトタイプの保護	22 管理策
データ保護	4 管理策

点検の実施

<p>当社ができること：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ TISAX用自己監査、 ・ TISAX用規定改訂／作成、 ・ TISAX認証向け社員教育、 ・ TISAX向け内部監査、 ・ TISAXのベースとなるISMS運用設計／構築支援 	<p>支援実績：</p> <p>某Tier1メーカーTISAX認証取得、他情報セキュリティ対策支援実績多数あり</p>
--	--

<p>お問い合わせはこちらまで </p> <p>提携先</p>	<p>株式会社シー・クレド</p> <p>〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3</p> <p>大阪センタービル6-29</p> <p>代表取締役 乙守 栄一</p> <p>URL : https://seae-credo.com</p> <p>Email : e-otomori@seae-credo.com</p>	
--	--	---